

教育委員会

1. 第一次佐賀市教育基本計画

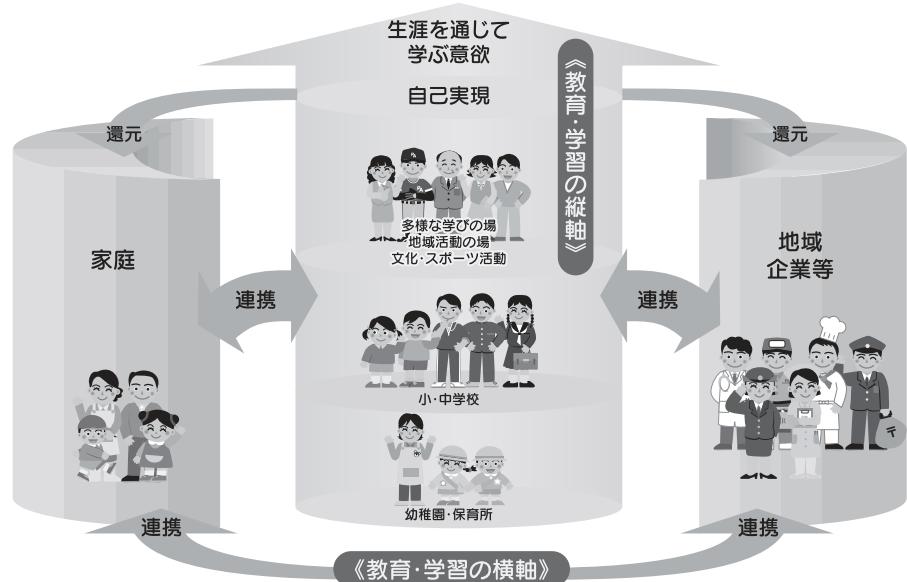
佐賀市ならではの教育施策を進めていくためには、社会情勢の変化に迅速に対応していくことはもちろんのこと、0歳から義務教育修了時の15歳までの「子どもの育ち」を念頭に入れた中長期的な視点で教育の方向性を定める必要がある。

佐賀市教育委員会においては、佐賀市における中期的（5年間）な教育基本計画を平成17年度（平成18年3月）に、中間年である平成20年度に後期計画を策定し、この計画に基づき家庭・学校・地域・行政が一体となって取り組んでいる。

また、今年度（平成22年度）が、第一次佐賀市教育基本計画の最終年度になることから、今年度、時代に即した新たな教育政策の指針となる「第二次佐賀市教育基本計画」を策定する。

[第一次佐賀市教育基本計画の基本目標・基本方針]

《基本目標》新しい“さが”を担う責任と自覚をもつ人づくり



2. 教育委員

役職名	氏名	職業	委員就任年月日	委員現任期
委員長	古賀靖之	大学教授	H12.10.1	H20.11.5 H24.11.4
委員 (委員長職務代理者)	山下恭子	短大教授	H17.11.5	H19.11.5 H23.11.4
委員	福島和代	弁護士	H20.11.5	H20.11.5 H24.11.4
委員	岸川正人	会社役員	H21.11.5	H21.11.5 H25.11.4
委員	光吉みやこ	保護者	H22.11.5	H22.11.5 H26.11.4
教育長	東島正明	公務員	H21.11.5	H21.11.5 H25.11.4

*委員任期4年・委員長任期1年で再選されることができる。

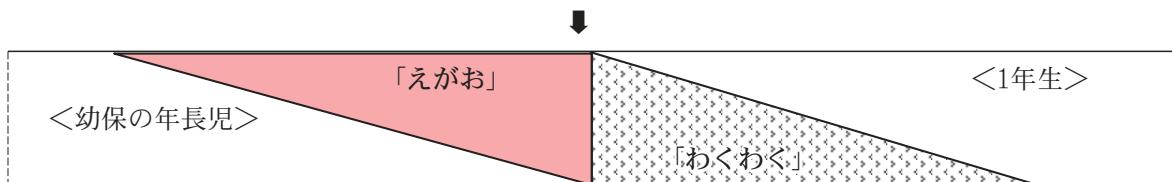
3. 就学前からの教育の充実

(1) 幼児教育の充実 4-2

① 幼保小の接続期における教育推進

幼稚園・保育所から小学校への接続期の教育充実のため、接続期のプログラム「えがお」（幼稚園・保育所用）、「わくわく」（小学校用）の実施を推進し、その成果の検討・検証を行い、子どもと保護者の小学校入学に対する不安解消や社会現象となっている「小1プロブレム」の解消を図る。

幼保小の「育ちと学び」の連続性について（イメージ図）
<卒園・入学>



○ 「えがお」について

幼稚園・保育所では5歳児の12月から「えがお」をもとに、子どもたちの育ちの状況を確認し、卒園までの4ヶ月間で遊びや生活を通して、さらに育ちを伸ばしていくようする。

その際、「えがお」を活用しながら、幼稚園教育要領・保育所保育指針の5領域を意識しながら育てていくことで、小学校への就学の準備ができ、なめらかな接続ができるようになると考える。

「えがお」の柱として、次の5つを大切にしている。

- 遊びのきっかけ・展開につながる「環境づくり」を大切に！
- 子どもたちの「主体的な活動」を大切に！
- 計画性・柔軟性のある「援助」を大切に！
- 「見る・聴く・話す力」を大切に！
- 「協同的な遊び」を大切に！

○ 「わくわく」について

幼稚園・保育所5歳児における「えがお」を受け、小学校での学習・生活へとなめらかにつなぐためのプログラムで、1年生5月末までの2ヶ月間程度の実施とする。

子どもが、体験・活動を通して意欲的に学習できるように、4つの柱を意識し、内容と指導方法の検討を加え、身に付けさせたい学習習慣を織り込んだ展開を考え、「わくわく」と呼ぶ。

「わくわく」の柱として、次の4つを大切にし、幼保からの育ちや学びを生かした指導をする。

- 「集まる場」を組み込んだ学習形態
- 「遊びの要素」を取り入れた学習活動
- 「基本的な学習習慣」を組み込んだ学習内容
- 「柔軟な学習時間」の設定

② 幼稚園特別支援教育の実施

障がいのある児童の受け入れを実施している市内の私立幼稚園に対し、その経費の一部を補助することにより、幼稚園への就園の促進に努めていく。

	19年 度	20年 度	21年 度
受入人数	32人	39人	45人
受入園	15園	15園	20園
実績額	5,556千円	7,040千円	8,559千円

③ 幼保の食育指導の充実

健康な生活の基本として「食を営む力」の育成に向け、その基礎を培うために、幼稚園・保育所での食育指導に取り組む。

管理栄養士をこども課内に配置し、幼稚園・保育所や園児・保護者への食育指導、また、食育指導計画作成の助言を行う。

④ 幼小一貫教育の研究

9年間の見通しをもった保育・教育を進めるために、本庄小学校と本庄幼稚園で、相互の保育・授業参観や研究会、園児・児童の交流を行い、幼小の育ちや学びの連続性を生かした幼児教育と小学校教育の在り方を研究する。

⑤ 幼保における特別支援体制の充実

特別な支援を必要とする乳幼児について、在籍する幼稚園・保育所等の教諭・保育士や保護者に対して、個に応じた特別支援教育（保育）のあり方を助言、指導することにより、乳幼児がその発達段階に応じた適切な保育を受けることのできる環境を構築する。

(2) 義務教育の充実 4-2

① 地域人材活用の推進

各学校では、学校の独自性や地域の特色を生かしながら、各教科や総合的な学習の時間、学校行事等において、地域の人材を活用した教育活動に取り組んでおり、教育委員会ではこれらにかかる経費等を支援している。

② キャリア教育推進事業

地元商工団体や産業界等から成る「NPO法人 鳳雛塾」と共同で、キャリア教育を進めている。小学生が地元商店街等で商売を体験する「キッズマート」、あこがれの職業について聞く「職業人にインタビュー」、中学生がいろいろな職場で活動する「職場体験学習」を核とした授業や活動を実践し、地域社会と連携・協働することで、職業に関する知識や技能、望ましい職業観や勤労観を身に付け、主体的に生きる態度を育てていく。

H21年度	キッズマート	勧興小、循誘小、神野小 など
	職場体験	市立全中学校

③ 環境教育の推進

小中学校における環境教育を推進するために、各学校の環境教育の情報交換を支援する。H21年度は、環境教育の広がりを進めるため、旧町村を含めた5校（小学校2校、中学校3校）を実践協力校に指定し、その活用を推進する。（主管：環境課）

④ 学校版環境ISOの取り組み

児童生徒と教職員が環境について考え、環境保全を実践し、環境にやさしい学校マネジメントシステムを目指す取り組みを行う。

H14年度に佐賀市と佐賀市教育委員会が設けた「学校版環境ISO制度」により、各学校が独自に作成した実行計画をもとに取り組む。（主管：環境課）

⑤ 外国語活動等国際理解活動推進事業

国際理解教育の一環として、小学校高学年での外国語活動を行うことにより、コミュニケーション能力の育成と異文化・自文化理解を図る。合わせて、H23年度から全面実施される小学校外国語活動のための授業計画や教材の整備に取り組む予定。

⑥ ALTの活用推進

中学生の英会話能力の向上のため、ALT（外国語指導助手）を中学校へ配置している。また、子どもの外国語活動への興味・関心を高めるために、小学校へALTを派遣している。

⑦ 早稲田・佐賀21世紀子どもプロジェクト

早稲田大学と協力し、市内在住の中学生に対し佐賀が生んだ「大隈重信」や佐賀の自然環境を学ぶことにより、21世紀の日本を担う人材の育成を図る。

子ども出前講座や教職員講座、大隈重信をテーマにしたスピーチコンテストを開催し、子どもたちの大隈重信や佐賀の自然環境への理解を深め、郷土の良さを見直す機会を提供する。

⑧ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー活用事業

すべての中学校区に臨床心理士や大学の教授からなるスクールカウンセラー又は、豊富な教育相談の経験を有するスクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒や保護者の教育相談に応じている。

⑨ 不登校対策事業

不登校、いじめ、怠学等の問題を抱える学校に対して、適切な指導助言のあり方や、具体的・即時的な指導方法の研究と実践を図る。

また、不登校児童生徒の学校復帰や社会的自立を促すため、学校・家庭・適応指導教室「くすの実」の連携を図り、不登校児童生徒の家庭に「サポート相談員」を派遣することで、学校への復帰を進めている。

H21年度サポート相談員 配 置 状 況	サポート相談員（指導員数） 6 人
-------------------------	----------------------

⑩ 不登校児童生徒の学習支援（ＩＣＴ等の活用）

引きこもりの児童生徒に、インターネットを通したパソコンによる学習支援を行うとともに、家庭訪問による学習指導を行う学習ボランティアを派遣し、学校復帰を支援する。

H21年度 I C T 事業学習指導員 配 置 状 況	I C T 学習指導員数 1 人	学習ボランティア指導員数 3 人
--------------------------------	---------------------	---------------------

⑪ 学習支援員の活用推進

不登校傾向にある児童の相談相手や悩みのある児童の学校生活を支援するために、学習支援員を配置している。

H21年度支援員 配 置 状 況	学習支援員数 15 人
---------------------	----------------

⑫ 特別支援教育推進事業

心身に障がいのある児童生徒の学校生活や学習を保障するため、生活指導員を配置している。

平成19年度から嘱託化し、配置先を1校に限定するのではなく、児童生徒の状況に応じて週1～5日配置し、希望のあるすべての学校で支援している。また、校外活動でも支援ができるようしている。

また、教職員の特別支援教育への理解と対応のあり方を向上させるため、特別支援教育コーディネーター研修会を開催している。

各学校においては、特別支援教育コーディネーターを中心に校内委員会を立ち上げ、個々の児童生徒への組織的な対応をするとともに、発達障がいの理解と対応のための研修を実施している。

さらに、特別支援学校や専門機関からの巡回相談や専門家の招聘など、外部との連携を行っている。

H21年度指導員	生活指導員数
配置状況	34人

⑬ 支援指導員の派遣

様々な理由で教育活動に支障をきたしている教員に対して、支援指導員を派遣し児童生徒の指導の補助にあたることで、教育環境を公平に保障し、児童生徒一人一人の個性や能力を最大限に伸ばすことを目指す。

(3) 学校経営の充実 4－2

① 学校経営方針の明確化と学校運営の改善

個性を活かした特色ある開かれた学校づくりを推進するため、各学校では、教育目標を分かりやすく示すとともに、より具体化した教育計画の策定に努める。教育目標を具現化するために、各学校では、学校運営組織の見直しに取り組み、組織としての機能の充実に努める。

また、各学校の経営方針や教育活動を保護者や地域の方々に十分に理解していただくために、平成14年度から学校毎にパンフレットを作成し、配布している。

② 到達度等調査研究事業

子どもたちが学習した内容の到達度や定着度を把握し、個に応じた適切な指導を行うとともに、学校の指導方法の改善・充実に生かすことを目的として、小学校・中学校の各段階において学習到達度状況調査を行う。

③ 教育委員会マネジメント事業

教育委員会が、教育行政のリーダーシップをとるための体制づくりを行う。また、教育行政への理解と関心を高めるために教育情報の提供の充実を図っていく。

④ 小中学校のマネジメント支援事業

児童・生徒が充実した学校生活をおくることができるよう、小中連携事業や学校評価の結果を基にした学校の強みの強化又は弱みの補強にかかる事業、全国学力・学習状況調査等の結果をもとにした学力向上策に係る事業及び学校の経営方針に基づく学校の特色づくりなど、各学校の教育目標の実現に向けた教育活動に関する経費を支援する。

⑤ 学校評議員活用事業

全学校に学校評議員・学校運営協議会委員を委嘱し、制度を活用して、学校と保護者・地域の融合を図り、学校が行う教育活動のさらなる活性化を目指す。

⑥ 学校外部評価システムの充実

校長、教職員、児童生徒、保護者による自己評価に加えて、児童生徒、保護者、地域住民、学校評議員等による学校関係者評価を全校で実施し、評価を生かした信頼される学校づくりを目指す。

⑦ 教育委員会の評価制度

教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するために、評価委員会を設置し、教育委員会による自己評価に加え、評価委員会による第三者評価を行い、事業の継続的な改善を図っていく。(佐賀市教育委員会では平成19年度事業実施分から毎年実施している。)

また、教育政策市民満足度調査結果を施策に反映させることで、市民の意見を反映した教育施策を進めていく。

⑧ 学校事務改善事業

平成16年度に作成した学校事務改善の方向性に沿って教員の事務負担軽減や学校経営管理時間を創出し教育の質の充実を図ることを目的に、平成20年度に学校事務共同実施協議会を設置し市内8ブロックでの共同実施を開始し、平成23年度からは、より機能的な活動を図るために10ブロックへの再編を行う予定。今後も、学校経営管理を円滑に行い、積極的な情報発信を行うことで地域との連携に役立てる。

⑨ 教科等研究会研究委託事業

教職員の実践的指導力の向上のため、教科等研究会各部会での研究を推進し、指導方法の改善・充実等に努めている。平成20年度からは「小学校外国語活動部会」を新設した。

⑩ 研究指定校委嘱事業

計画的に学校への研究委嘱を行い、教育の今日的課題の解決に向けて努める。

⑪ 教職員研修会支援事業

各学校の校内研究を充実させるため、研修費や指導主事派遣などにより支援を行う。また、教職員の指導力向上や指導方法の工夫改善につなげるため、教育研究所主催の教職員を対象とした研修会を行い、教職に対する熱意と教育の専門家としての確かな力量を培い、学校の活性化を目指す。

さらに、教職員の自主的な研修グループの活動を支援するため、研修費の一部助成を行う。

⑫ 佐賀市教育研究所運営事業

様々な教育課題の解決のため、教職員向け研修会の開催やデータベースの充実を図る。

また、教職員の研究意欲の高揚及び教育活動の活性化を図るため、個人やグループによる研究及び教材・教具の創作への応募を奨励・支援している。

⑬ 教育委員と語る会開催事業

市民と教育委員が直接対話する機会を設け、市民の意見を広く求め、教育行政や施策に反映させるため、地域の公民館等で開催している。

【実施校区】

平成21年度

城北中学校区、子育て支援センターゆめ・ぽけっと

⑭ 学校・保育所ミーティング開催事業

教育長と教育現場職員の対話の機会をつくり、学校現場教職員の意見を広く求め、学校と教育委員会の相互理解を深めていくことを目的とした「学校・保育所ミーティング」を開催している。学校は中学校校区単位で行っている。

【H21年度実施】

校 区	対 象 校
成 章 保 育 所	成章保育所
東 与 賀 中 学 校 区	東与賀小、東与賀中
成 章 中 学 校 区	神野小、勧興小、成章中
城 北 中 学 校 区	高木瀬小、若楠小、城北中
富 土 中 学 校 区	富士小、富士南小、富士中

⑮ 学校フリー参観デーの開催

市内各小中学校において、授業や給食など教育活動の参観を児童生徒の保護者だけでなく広く市民にも公開し、開かれた学校づくりの一環として、また、佐賀市の教育に対する理解促進のために実施している。

H 21 年 度 参 観 者 実 績	第 1 回 目 (6 月)	第 2 回 目 (秋)
	23,289人	11,526人

⑯ 特色ある学校運営推進事業

城南校区コミュニティ・スクール推進事業：城南中、北川副小、赤松小

保護者や地域住民が学校運営に参画できる「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」に、城南中学校区（赤松小、北川副小、城南中）で取り組み、3校が「城南豊夢学園」として、学校と地域が一体となった活動を行っている。

小中一貫校の研究

地域の特色と小・中学校が隣接している環境を生かしながら、小中9年間の学びの連続性を基本的な形としたカリキュラム編成により、児童生徒一人ひとりのよさを伸ばし、生徒指導の充実を図り、学力向上、豊かな心の醸成など特色ある教育を推進する。

⑰ 生徒会活性化事業

佐賀市教科等特別部会との協働で、中学校リーダー研修会を年2回開催し、子どものリーダー性を伸ばすとともに、生徒会活動の一環として「中学校パワーアップ・プラン事業」を行い、生徒自らが企画・立案・運営し、生徒会活動・学校・地域の活性化を図る。

⑱ 学校ホームページの充実

特色ある学校づくりを進めて、教育内容や学校の様子を外部に知らせるため、その手段のひとつである学校のホームページを充実させる。そのため、学校でホームページの更新が活発にできるよう教職員に研修を行っている。

⑯ 学校保健の充実

児童生徒の健康状況を把握し、学校・家庭・学校医等が連携を図りながら、心身ともに健康な児童生徒を育成するために、次のような事業を実施している。

- ・保健体育科の時間を中核にしながら、特別活動の学級活動や学校行事をはじめ総合的な学習の時間など、学校教育活動全体の中における健康に関する教育への取組
- ・学校保健安全法に基づく健康診断の適正な実施と事後措置の徹底
- ・学校保健関係団体（医師会、歯科医師会、薬剤師会、学校保健会）との連携

⑰ フッ化物洗口むし歯予防事業

フッ化物洗口によって歯の歯質を強化してむし歯の予防を行う。また、フッ化物洗口を通して、児童が自分の口腔内の状態に関心を持つとともに、むし歯になりやすい小学生の時期にむし歯になりにくい状態を保たせることで、健康な歯で、健康な食生活を送る児童を育成する。

⑱ 学校情報携帯メールの配信

通学途中の児童生徒の犯罪被害や災害被害に関する緊急情報を、保護者や学校関係者に発信し、情報を共有することによって防犯罪・災害に対する家庭・学校・地域の連携推進を図り、児童生徒の安全確保に役立てる。

⑲ 児童生徒の学校安全の推進

児童生徒の学校生活等における安全を図るため、各学校の組織の確立と学校安全担当者研修会等による安全教育及び安全管理の徹底、また、各学校での交通安全教育や防犯指導の徹底などを実施している。

(4) 教育機会の均等化 4－2

① 就学援助費補助

経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者へ、学用品費や給食費等の一部を援助する。

年 度	認 定 者	事 業 費
H21年度	2,879人	176,223千円

② 特別支援教育就学奨励費

特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力に応じて学用品費、修学旅行費、給食費等を補助する。

年 度	認 定 者	事 業 費
H21年度	142人	4,265千円

③ 佐賀市奨学金

経済的な理由により就学困難な高校生に対し、奨学金を給付し、有用な人材を育成する。

年 度	認 定 者	事 業 費
H21年度	77人	9,036千円

④ 高等学校生徒通学費補助

通学が困難な地域に居住する子どもが高等学校又は高等専門学校に就学したときに要するバス代等の一部を助成する。旧富士町と旧三瀬村は制度を引き継ぎ、平成19年度からは新たに佐賀駅バスセンターから居住地のバス停まで12kmを超える場合も対象とした。

年 度	支 給 人 数	事 業 費
H21年度	142人	14,367千円

⑤ 通学費補助

山間部（大和町、富士町）の遠距離通学をする児童生徒の、円滑な就学を促すため、通学費（路線バス定期代等）の購入補助をする。

年 度	認 定 者	事 業 費
H21年度	102人	7,959千円

⑥ 通学区域制度の弾力化

本市では、在学中における住所の変更や心身上事由など「相当と認められる理由」がある場合、通学区域の弾力的な取扱い（就学校の変更）を認めている。

さらに平成18年度からは、新小学1年を対象に居住している小学校及び隣接している小学校から1校を選べる隣接校の選択制、市内のどこからでも選択できる特認校制を実施するなど、保護者のニーズに答える学校選択制を導入している。

隣接校選択制……市内全小学校

特認校制………小中一貫校芙蓉校（小）、松梅小、富士南小、富士小、小中一貫校北山校（小）、北山東部小、三瀬小

（5）安全な給食の提供と食育の充実 4 - 2

① 学校給食運営事業

学校給食用食器として使用する椀と皿は、旧佐賀市では平成13年度に切り替えを完了した。

また、平成17年度からは正しい持ち方ができるように低学年（1～3年生）児童用の箸を導入している。

② 食に関する教育指導の充実

給食の時間だけでなく、特別活動の学級活動や学校行事をはじめ、各教科、道徳、総合的な学習の時間等で、食に関する教育を積極的に行っている。

『「食育」指導の手引』を活用するとともに嘱託栄養職員の配置を進め、食に関する教育の充実を図っている。また、児童の健康状態や栄養摂取量を把握するため、「食事状況調査」を定期的に実施している。

③ 学校給食における安全衛生の充実

「佐賀市学校給食衛生管理基準」を独自に策定し、安全な給食の提供に努めている。平成13年

度から国内産小麦を使用したパンを給食に導入している。遺伝子組み換え大豆を原料にしない本醸造醤油「元気」を県味噌醤油醸造協同組合との共同で開発し、学校給食に使用している。

遺伝子組み換え食品については、食材納入業者の協力を得ながら、長期的な安全性が確認されるまでは、使用しない方向で取り組んでいる。食肉については、生産履歴の明確なものをできる限り使用し、ハムやベーコンなどの加工品もJAS規格製品、もしくは県内産の材料を使用して製造されたものを使用している。

④ 学校給食食材の地場産品導入による食農教育の推進

学校給食にふるさとの新鮮な地場産品を導入し、それを食することを通して、生産者と子どもたちとの信頼関係が生まれ、農薬の影響がない安全な食材の生産や郷土の環境を守る大切さが子どもたちの中に育つことが期待される。食材については、地元で収穫された安全で新鮮なものを使用するよう努めている。

⑤ 学校給食の一部民間委託推進事業

調理員の適正配置と学校給食の運営体制の効率化を図るため、学校給食の一部（調理業務と洗浄にかかる業務）民間委託を平成15年度から本格的に実施している。

(6) 教育環境の充実 4 - 2

① 学校施設の整備

校舎等の耐震診断・耐力度調査等を行い、校舎等の強度・危険度を把握し、平成19年度には「新佐賀市学校施設整備計画」を策定した。今後は、この計画を基に、校舎、屋内運動場、プール等の改修工事及び建替えなどを行っていく。

② 小中学校施設改修事業

児童・生徒、教職員や利用者の安全確保を図るために、校舎等の維持管理を行っている。

③ 小・中学校児童生徒用図書整備

学校図書館の児童生徒用の図書整備を進め、読書指導の活性化はもとより、学校の教育課程の多様な展開に寄与するとともに、児童生徒が自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応する能力を育て、学習情報センターとしての機能充実を目指す。

④ 学校図書館資源共有事業

佐賀市内54校の学校図書館蔵書をデータベース化するとともに市立図書館とのネットワークを構築し、学校間及び市立図書館の図書資源の共同利用化を推進していく。

⑤ 小・中学校教育用情報機器の更新・整備

平成9年度から、IT社会に対応する児童生徒を育成するため、コンピューターに関する知識と操作能力の習得や、各教科教育の支援となるよう、1人1台の環境で学習できる教育用コンピューターを小・中学校に整備・更新している。

また、電子黒板などの新たな教育用情報機器の整備に取り組み、ICT教育環境の充実を図っていく。

○児童生徒数、学級数一覧

(小学校)

平成22年5月1日現在

学校名	区分	普通学級							特別支援学級	合計
		学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生		
勵興	児童数	52	51	51	42	55	55	306	9	315
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	3	15
循誘	児童数	77	65	74	102	79	82	479	9	488
	学級数	3	2	2	3	2	3	15	2	17
日新	児童数	77	82	86	98	95	103	541	5	546
	学級数	3	3	3	3	3	3	18	1	19
赤松	児童数	98	96	98	103	94	84	573	13	586
	学級数	3	3	3	3	3	3	18	3	21
神野	児童数	123	132	113	142	94	139	743	9	752
	学級数	4	4	3	4	3	4	22	2	24
西与賀	児童数	46	37	53	47	53	43	279	3	282
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	1	13
嘉瀬	児童数	41	37	33	47	32	42	232	6	238
	学級数	2	1	1	2	1	2	9	2	11
巨勢	児童数	34	45	34	41	47	42	243	3	246
	学級数	1	2	1	2	2	2	10	1	11
兵庫	児童数	99	118	99	122	122	116	676	6	682
	学級数	3	3	3	4	4	3	20	2	22
高木瀬	児童数	123	151	124	119	157	105	779	11	790
	学級数	4	4	4	3	4	3	22	2	24
北川副	児童数	96	87	90	109	102	105	589	7	596
	学級数	3	3	3	3	3	3	18	2	20
本庄	児童数	82	76	86	80	112	81	517	4	521
	学級数	3	3	3	2	3	3	17	1	18
鍋島	児童数	143	135	144	156	152	162	892	13	905
	学級数	5	4	4	4	4	5	26	3	29
金立	児童数	29	37	45	35	40	28	214	7	221
	学級数	1	2	2	1	1	1	8	2	10
久保泉	児童数	33	26	28	23	34	39	183	6	189
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	2	8
芙蓉	児童数	12	18	14	20	12	19	95	2	97
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	7
新栄	児童数	78	90	71	89	86	73	487	7	494
	学級数	3	3	2	3	3	2	16	2	18
若楠	児童数	63	79	105	83	80	98	508	9	517
	学級数	2	3	3	3	2	3	16	2	18
開成	児童数	91	106	113	114	92	116	632	6	638
	学級数	3	4	3	3	3	3	19	2	21
諸富北	児童数	53	51	54	47	55	51	311	2	313
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	1	13
諸富南	児童数	45	45	43	43	54	56	286	7	293
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	2	14
春日	児童数	79	104	108	89	94	80	554	7	561
	学級数	3	3	3	3	3	2	17	2	19
川上	児童数	50	48	48	70	54	53	323	2	325
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	1	13
松梅	児童数	6	8	5	7	6	7	39	4	43
	学級数	1	1	1	1	1	1	4	1	5
春日北	児童数	72	63	66	68	77	65	411	5	416
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	2	14
富士南	児童数	3	6	8	10	16	7	50	2	52
	学級数	1	1	1	1	1	1	5	1	6
富士	児童数	11	13	8	16	9	13	70	0	70
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	0	6
北山	児童数	7	6	7	7	6	3	36	0	36
	学級数	1	1	1	1	1	1	4	0	4
北山東部	児童数	2	2	3	2	1	3	13	0	13
	学級数	1	1	1	1	1	1	3	0	3
三瀬	児童数	15	17	11	19	9	16	87	1	88
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	7
中川副	児童数	22	18	24	27	17	38	146	3	149
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	7
大詫間	児童数	10	14	12	11	13	26	86	1	87
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	7
南川副	児童数	43	55	61	61	65	71	356	2	358
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	1	13
西川副	児童数	45	49	53	46	62	48	303	2	305
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	1	13
東与賀	児童数	95	94	92	111	101	104	597	13	610
	学級数	3	3	3	3	3	3	18	3	21
思齊	児童数	80	83	102	98	85	83	531	7	538
	学級数	3	3	3	3	3	3	18	2	20
合計	児童数	2,035	2,144	2,166	2,304	2,262	2,256	13,167	193	13,360人
	学級数	78	78	74	75	76	74	455	56	511学級

○児童生徒数、学級数一覧

(中学校)

平成22年5月1日現在

学校名	区分	普通学級				特別支援学級	合計
		学年	1年生	2年生	3年生		
成 章	生徒数	143	154	142	439	5	444
	学級数	5	4	4	13	2	15
城 南	生徒数	160	159	167	486	6	492
	学級数	5	4	5	14	1	15
昭 栄	生徒数	199	189	215	603	6	609
	学級数	5	5	6	16	2	18
城 東	生徒数	204	190	192	586	10	596
	学級数	6	5	5	16	2	18
城 西	生徒数	148	139	157	444	2	446
	学級数	5	4	4	13	1	14
城 北	生徒数	208	213	192	613	6	619
	学級数	6	6	5	17	1	18
金 泉	生徒数	72	61	88	221	0	221
	学級数	3	2	3	8		8
芙 蓉	生徒数	22	15	23	60	0	60
	学級数	1	1	1	3	0	3
鍋 島	生徒数	199	233	209	641	15	656
	学級数	6	6	6	18	4	22
諸 富	生徒数	106	123	115	344	2	346
	学級数	3	4	3	10	1	11
大 和	生徒数	205	203	205	613	10	623
	学級数	6	6	6	18	2	20
松 梅	生徒数	10	13	8	31	0	31
	学級数	1	1	1	3	0	3
富 士	生徒数	21	22	29	72	0	72
	学級数	1	1	1	3	0	3
北 山	生徒数	8	8	9	25	1	26
	学級数	1	1	1	3	1	4
三 瀬	生徒数	12	18	18	48	1	49
	学級数	1	1	1	3	1	4
川 副	生徒数	125	127	146	398	3	401
	学級数	4	4	4	12	1	13
東与賀	生徒数	92	94	83	269	4	273
	学級数	3	3	3	9	1	10
思 斎	生徒数	79	86	79	244	4	248
	学級数	3	3	2	8	1	9
合 計	生徒数	2,013	2,047	2,077	6,137	75	6,212人
	学級数	65	61	61	187	21	208学級

○学校職員数一覧

※平22年5月1日現在

校名	県費職員数										市費職員数										総合計						
	校 長	教 頭	主 幹	教 諭	教 諭	養 護 教 諭	養 護 教 諭	助 教 諭	講 師	事 務 職 員	栄 養 教 諭	栄 養 士	計	事務 職員		栄養士		調理員		事務員		図書館 職員		計		職 員	嘱 託
														職 員	嘱 託	職 員	嘱 託	職 員	嘱 託	職 員	嘱 託	職 員	嘱 託				
勸 興	1	1		23	1				1	1		28		1.0		1.0				1.0		1.0	0.0	4.0	28.0	4.0	
循 誘	1	1		22	1				2	1		28		1.0		1.0				1.0		1.0	0.0	4.0	28.0	4.0	
日 新	1	1		24	1					2	1	30		1.0			3.0		1.0			1.0	4.0	2.0	34.0	2.0	
赤 松	1	1	1	25	1				2	1	1	33		1.0					1.0			1.0	1.0	2.0	34.0	2.0	
神 野	1	1	1	27	1				2	1	1	35		1.0					1.0			1.0	1.0	2.0	36.0	2.0	
西 与 賀	1	1		15	1					1		19		1.0						1.0		1.0	0.0	3.0	19.0	3.0	
嘉 瀬	1	1		14	1				2	1		20		1.0		1.0	3.0		1.0			1.0	4.0	3.0	24.0	3.0	
巨 勢	1	1		12	1				3	1		19		1.0		1.0				1.0		1.0	0.0	4.0	19.0	4.0	
兵 庫	1	1	1	27	1				3	1	1	36		1.0					1.0			1.0	1.0	2.0	37.0	2.0	
高 木瀬	1	1	1	32	1				2	1	1	40		1.0					1.0			1.0	1.0	2.0	41.0	2.0	
北 川副	1	1		29	1				2	1	1	36		1.0			4.0		1.0			1.0	5.0	2.0	41.0	2.0	
本 庄	1	1		22	1				1	1	1	28		1.0			3.0		1.0			1.0	4.0	2.0	32.0	2.0	
鍋 島	1	1	1	34	2				4	2	1	46		1.0					1.0			1.0	1.0	2.0	47.0	2.0	
金 立	1	1		12	1					1		16		1.0		1.0	3.0			1.0		1.0	3.0	4.0	19.0	4.0	
久 保 泉	1	1		10	1				2	1		16		1.0		1.0	3.0			1.0		1.0	3.0	4.0	19.0	4.0	
芙 蓉		1		10	1							12		0.5		1.0	3.0			1.0		0.5	3.0	3.0	15.0	3.0	
新 栄	1	1		23	1				2	1	1	30		1.0			3.0		1.0			1.0	3.0	3.0	33.0	3.0	
若 楠	1	1		22	1			1	1	1	28		1.0			3.0			1.0			1.0	3.0	3.0	31.0	3.0	
開 成	1	1		24	1				3	2	1	33		1.0					1.0			1.0	1.0	2.0	34.0	2.0	
諸 富 北	1	1		16	1				3	1		23		1.0					1.0			1.0	1.0	2.0	24.0	2.0	
諸 富 南	1	1		17	1				1	1		22		1.0					1.0			1.0	1.0	2.0	23.0	2.0	
春 日	1	1		25	1				2	1	2	33		1.0			4.0		1.0			1.0	5.0	2.0	38.0	2.0	
川 上	1	1		17	1				2	1	1	24		1.0			3.0		1.0			1.0	4.0	2.0	28.0	2.0	
松 梅	1	1		7	1				1	1		12		0.5					0.5			0.5	0.5	1.0	12.5	1.0	
春 日 北	1	1		19	1				2	2		26		1.0		1.0	3.0		1.0			1.0	4.0	3.0	30.0	3.0	
富 士 南	1	1		7	1					1		11		0.5					1.0			0.5	0.0	2.0	11.0	2.0	
富 士	1	1		7	1	1			1			12		0.5					1.0			0.5	0.0	2.0	12.0	2.0	
北 山		1		4								5		0.5						0.5		0.5	0.0	1.5	5.0	1.5	
北山東部	1	1		4	1				1			8		0.5					1.0			0.5	0.0	2.0	8.0	2.0	
三 濱	1	1		8	1				1	1	13		0.5						1.0			0.5	0.0	2.0	13.0	2.0	
中 川副	1	1		8	1			1	2	1	15		1.0					1.0			1.0	1.0	2.0	16.0	2.0		
大 詫 間	1	1		9	1				1		13		0.5					1.0			0.5	1.0	1.0	14.0	1.0		
南 川副	1	1		17	1				2	1		23		1.0					1.0			1.0	1.0	2.0	24.0	2.0	
西 川副	1	1		15	1				1	1		20		1.0						1.0			1.0	0.0	3.0	20.0	3.0
東 与 賀	1	1		26	1				2	1	1	33		1.0			3.0		1.0			1.0	4.0	2.0	37.0	2.0	
思 齊	1	1		23	1				2	1	1	30		1.0			3.0	1.0	1.0			1.0	4.0	3.0	34.0	3.0	
小学校計	34	36	5	636	36	1	1	51	39	17	856	0.0	32.0	0.0	8.0	44.0	1.0	20.5	14.5	0.0	32.0	64.5	87.5	920.5	87.5		

※平22年5月1日現在

校名	県費職員数										市費職員数										総合計					
	校 長	教 頭	主 幹 教 諭	教 諭	養 護 教 諭	養 護 教 諭	栄 養 教 諭	講 師	事 務 職 員	栄 養 士	計	事務 職員		栄養士		調理員		事務員		図書館 職 員		計		職 員	嘱 託	
												職 員	嘱 託	職 員	嘱 託	職 員	嘱 託	職 員	嘱 託	職 員	嘱 託	職 員	嘱 託			
成 章	1	1		26	1			4	1		34		1.0							1.0		1.0	0.0	3.0	34.0	3.0
城 南	1	1	1	28	1				1	2		35		1.0						1.0		1.0	0.0	3.0	35.0	3.0
昭 栄	1	1	1	30	2				3	1		39		1.0						1.0		1.0	0.0	3.0	39.0	3.0
城 東	1	1	1	31	2				3	1		40		1.0						1.0		1.0	0.0	3.0	40.0	3.0
城 西	1	1		25	1					1		29		1.0						1.0		1.0	0.0	3.0	29.0	3.0
城 北	1	1		29	1	1			3	2		38		1.0						1.0		1.0	0.0	3.0	38.0	3.0
金 泉	1	1		12	1				3	1		19		1.0						1.0		1.0	0.0	3.0	19.0	3.0
芙 蓉	1	1		8	1					1		12		0.5						1.0		0.5	1.0	1.0	13.0	1.0
鍋 島	1	2	1	35	2				3	2		46		1.0						1.0		1.0	0.0	3.0	46.0	3.0
諸 富	1	1		19	1			1	2	1		26		1.0						1.0		1.0	0.0	3.0	26.0	3.0
大 和	1	1	1	35	2				3	2		45		1.0						1.0		1.0	0.0	3.0	45.0	3.0
松 梅	1	1		6	1				1	1		11		0.5						0.5		0.5	0.5	1.0	11.5	1.0
富 士	1	1		7	1		1		1	1	13		0.5						1.0		0.5	0.0	2.0	13.0	2.0	
北 山	1	1		7	1				2	1		13		0.5						0.5		0.5	0.0	1.5	13.0	1.5
三瀬	1	1		7	1			1	1		12		0.5						1.0		0.5	0.0	2.0	12.0	2.0	
川 副	1	1		24	1				3	1		31		1.0						1.0		1.0	0.0	3.0	31.0	3.0
東与賀	1	1		18	1				3	1		25		1.0						1.0		1.0	0.0	3.0	25.0	3.0
思 齊	1	1		16	1				2	1		22		1.0						1.0		1.0	1.0	2.0	23.0	2.0
中学校計	18	19	5	363	22	1	2	37	22	1	490	0.0	15.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	14.5	0.0	15.5	2.5	45.5	492.5	45.5	

小中学校 総合計	52	55	10	999	58	2	3	88	61	18	1,346	0.0	47.5	0.0	8.0	44.0	1.0	23.0	29.0	0.0	47.5	67.0	133.0	1,413.0	133.0
-------------	----	----	----	-----	----	---	---	----	----	----	-------	-----	------	-----	-----	------	-----	------	------	-----	------	------	-------	---------	-------

[注] 0.5は他校と兼務、0.5は事務図書兼務

[注] 小中一貫校の芙蓉校長、北山校長は小中兼務

[注] 市費：小規模校では、学校図書館職員が学校事務職員を兼務

[注] 市費：芙蓉校、北山校、松梅小・中学校では、事務職員・事務員は小中兼務

[注] 市費：職員数の（ ）内は嘱託職員の数で内数

教育

公立小・中学校建物等一覧

平成22年5月1日現在

学校名	校地面積(m ²)			校舎面積(m ²)			保有教室数	
	総面積	建物敷地面積	運動場敷地面積	鉄筋・ 鉄骨	木造	計	普通教室	特別教室
本庄幼稚園	3,619	1,518	2,101	697	10	707	4	-
勵興小	25,642	9,993	15,649	5,583	58	5,641	15	10
循誘小	30,518	17,849	12,669	5,529	49	5,578	17	10
日新小	24,783	13,572	11,211	5,636	58	5,694	19	14
赤松小	30,172	17,241	12,931	5,970	76	6,046	21	9
神野小	20,486	12,542	7,944	5,585	139	5,724	24	13
西与賀小	23,023	10,044	12,979	4,578	78	4,656	13	10
嘉瀬小	21,257	11,518	9,739	4,175	109	4,284	11	8
巨勢小	18,362	9,919	8,443	3,377	152	3,529	11	9
兵庫小	23,022	9,540	13,482	4,990	58	5,048	22	7
高木瀬小	25,303	11,116	14,187	5,396	60	5,456	24	9
北川副小	24,586	10,127	14,459	6,189	127	6,316	20	9
本庄小	19,729	10,086	9,643	5,660	60	5,720	18	9
鍋島小	28,816	16,845	11,971	6,837	109	6,946	29	11
金立小	22,491	8,108	14,383	3,357	58	3,415	10	8
久保泉小	20,494	11,996	8,498	3,262	60	3,322	8	10
芙蓉小	29,092	17,112	11,980	1,515	78	1,593	7	-
新栄小	23,124	9,713	13,411	5,190	58	5,248	18	9
若楠小	22,323	10,202	12,121	6,038	78	6,116	18	14
開成小	31,581	20,264	11,317	5,556	116	5,672	21	9
諸富北小	20,820	9,081	11,739	4,225	-	4,225	13	9
諸富南小	21,815	12,284	9,531	4,660	60	4,720	14	9
春日小	20,787	9,953	10,834	5,773	-	5,773	19	10
川上小	21,483	13,154	8,329	4,415	84	4,499	13	9
松梅小	7,158	4,338	2,820	1,849	31	1,880	5	6
春日北小	30,666	17,818	12,848	5,044	-	5,044	14	8
富士南小	21,380	14,028	7,352	-	2,281	2,281	6	6
富士小	11,625	7,693	3,932	2,550	-	2,550	6	8
北山小	19,528	12,168	7,360	715	609	1,324	4	4
北山東部小	12,657	5,820	6,837	-	1,241	1,241	3	8
三瀬小	12,810	6,546	6,264	235	2,339	2,574	7	6
中川副小	18,926	8,198	10,728	4,005	-	4,005	7	11
大詫間小	15,493	5,040	10,453	2,303	43	2,346	7	6
南川副小	20,254	12,866	7,388	4,665	-	4,665	13	9
西川副小	22,609	12,020	10,589	4,273	-	4,273	13	9
東与賀小	24,817	10,934	13,883	4,634	8	4,642	21	10
思斎小	21,008	9,281	11,727	5,436	-	5,436	20	11
計	788,640	409,009	379,631	149,205	8,277	157,482	511	317

(改築中建物について、完成予定面積を算入し、取り壊し予定面積は除く。)

平成22年5月1日現在

学校名	屋内運動場				給食室			プール		
	構造	面積	クラブハウス	建築年度	構造	面積	建築年度	構造	面積	建築年度
本庄幼稚園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
勧興小	R	1,049	200	H5	R	169	53	RC	525	33
循誘小	S	878	-	45	R	171	62	FRP	450	H5
日新小	R	1,230	220	H9	R	174	H2	RC	485	41
赤松小	R	1,387	-	52	R	177	H3	ステンレス	450	H5
神野小	S	1,200	-	H22	R	170	H5	ステンレス	400	H20
西与賀小	S	820	-	56	R	183	55	RC	400	58
嘉瀬小	R	999	200	62	R	155	60	RC	375	40
巨勢小	S	730	-	48	R	155	59	RC	325	37
兵庫小	S	1,200	-	H21	S	204	H18	ステンレス	450	H7
高木瀬小	S	1,010	-	47	S	204	H10	RC	465	57
北川副小	S	1,021	-	56	S	204	H12	ステンレス	475	61
本庄小	R	1,049	200	H3	R	170	H4	ステンレス	450	H3
鍋島小	S	1,200	-	H20	R	209	53	RC	405	40
金立小	S	718	-	46	R	151	55	RC	440	39
久保泉小	S	1,200	-	H20	R	125	H8	RC	375	32
芙蓉小	R	589	-	H12	R	125	H6	RC	450	大33小58
新栄小	S	747	-	48	R	170	46	RC	450	47
若楠小	S	990	-	53	R	187	52	RC	450	53
開成小	R	1,049	200	H1	R	170	H1	FRP	450	H1
諸富北小	R	920	358	H3	-	-	-	RC	325	39
諸富南小	R	990	238	H16	-	-	-	RC	325	45
春日小	R	972	108	57	R	245	52	RC	416	41
川上小	R	942	140	H4	R	219	H4	RC	419	42
松梅小	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
春日北小	R	929	178	H7	R	218	H7	ステンレス	455	H7
富士南小	W	892	103	H17	-	-	-	ステンレス	325	H17
富士小	R	603	-	51	-	-	-	アルミ合金	477	54
北山小	RS	569	-	H19	-	-	-	ステンレス	321	H20
北山東部小	R	463	-	57	-	-	-	RC	265	H14
三瀬小	S	660	-	H16	-	-	-	-	-	-
中川副小	R	696	-	57	-	-	-	RC	500	H10
大詫間小	R	800	201	H1	-	-	-	RC	375	40
南川副小	R	941	263	62	-	-	-	RC	750	40
西川副小	R	760	-	44	-	-	-	RC	600	39
東与賀小	S	1,192	-	45	S	301	H8	RC	1,140	41
思齊小	R	947	359	63	S	323	63	RC	1,300	48
計	-	32,342	2,968	-	-	4,579	-	-	16,263	-

R(=RC)…鉄筋コンクリート、S…鉄骨造、RS…鉄筋コンクリート・鉄骨造、FRP…繊維補強プラスチック

平成22年5月1日現在

学校名	校地面積(m ²)			校舎面積(m ²)			保有教室数	
	総面積	建物敷地面積	運動場敷地面積	鉄筋・ 鉄骨	木造	計	普通教室	特別教室
成章中	33,931	14,476	19,455	5,974	123	6,097	15	19
城南中	35,119	17,405	17,714	7,488	58	7,546	15	19
昭栄中	33,091	20,458	12,633	8,263	58	8,321	18	17
城東中	27,954	14,728	13,226	7,044	107	7,151	18	18
城西中	27,891	12,889	15,002	6,168	58	6,226	14	15
城北中	38,889	10,264	28,625	5,747	91	5,838	18	15
金泉中	23,524	13,265	10,259	3,656	-	3,656	8	9
芙蓉中	0	-	-	1,886	112	1,998	3	8
鍋島中	31,600	14,617	16,983	5,686	107	5,793	22	15
諸富中	27,746	9,956	17,790	4,301	11	4,312	11	10
大和中	43,593	26,438	17,155	7,709	-	7,709	20	18
松梅中	15,259	7,488	7,771	2,206	-	2,206	3	11
富士中	15,471	8,180	7,291	2,307	612	2,919	3	13
北山中	261	261	-	1,511	650	2,161	4	10
三瀬中	10,987	8,477	2,510	1,829	-	1,829	4	4
川副中	31,649	14,481	17,168	7,807	-	7,807	13	18
東与賀中	32,422	11,339	21,083	4,238	-	4,238	10	13
思斎中	28,154	17,229	10,925	4,753	-	4,753	9	12
計	457,541	221,951	235,590	88,573	1,987	90,560	208	244

(改築中建物について、完成予定面積を算入し、取り壊し予定面積は除く。)

平成22年5月1日現在

学校名	屋内運動場				給食室			プール		
	構造	面積	クラブハウス	建築年度	構造	面積	建築年度	構造	面積	建築年度
成章中	R	1,342	-	48	-	-	-	RC	375	37
城南中	R	1,537	474	H4	-	-	-	FRP	400	H4
昭栄中	R	1,436	-	57	-	-	-	RC	375	38
城東中	R	1,277	348	62	-	-	-	FRP	400	H9
城西中	R	1,277	348	63	-	-	-	ステンレス	400	63
城北中	R	1,315	310	H7	-	-	-	RC	375	44
金泉中	S	1,157	180	H17	-	-	-	ステンレス	400	H10
芙蓉中	R	749	-	H12	-	-	-	-	-	-
鍋島中	R	1,375	269	58	-	-	-	FRP	399	58
諸富中	R	1,141	-	41	-	-	-	RC	425	52
大和中	R	2,315	199	62	-	-	-	RC	1,000	46
松梅中	R	897	-	H2	-	-	-	RC	465	49
富士中	S	961	-	41	-	-	-	-	-	-
北山中	RS	725	-	H19	-	-	-	-	-	-
三瀬中	S	455	-	H16	-	-	-	-	-	-
川副中	R	2,595	474	H5	-	-	-	-	-	-
東与賀中	R	1,197	381	62	-	-	-	-	-	-
思斎中	R	1,364	540	H9	-	-	-	-	-	-
計	-	23,115	3,523	-	-	-	-	-	5,014	-

R(=RC)…鉄筋コンクリート、S…鉄骨造、RS…鉄筋コンクリート・鉄骨造、FRP…繊維補強プラスチック

○就学援助費・特別支援教育就学奨励費補助給付状況

(平成21年度)

内 訳 種 別		小 学 校			中 学 校		合 計 (千円)	
		児童総数 (人)	給付児童数 (人)	給付額 (千円)	生徒総数 (人)	給付生徒数 (人)		
就 学 援 助 費	修学旅行費	13,599	317	3,526	6,326	308	16,689	20,215
	旅行費 (市費単独事業)		1,351	2,197		580	1,518	3,715
	学用品費等		1,825	25,068		976	23,994	49,062
	校外活動費 (宿泊を伴うもの)		292	435		29	96	531
	新入学用品費		243	4,836		319	7,305	12,141
	給食費		1,766	74,497		912	11,485	85,982
	医療費		523	3,504		109	1,015	4,519
	通学費		0	0		2	58	58
	計		—	114,063		—	62,160	176,223
特別支援教育就学 奨励費			100	3,068		39	1,197	4,265
合 計		—	—	117,131	—	—	63,357	180,488